

Q12 実地棚卸の立会時に着目すべきポイントについて教えてください。

A12 実地棚卸時の立会時に、どのポイントに着目すべきかに関する明確な指針はなく、ビジネスの形態や在庫の特性、在庫の保管状況などに応じた、臨機応変な対応が必要になります。

解説

- ・実地棚卸の立会時に着目すべき一般的なポイントをチェックリスト形式でまとめると、以下の通りです。ただし、「NO」となったものでも、合理的に説明ができれば問題ないと判断できる場合がある点と、下記のポイントをチェックするのみでは必ずしも十分とは言えない場合がある点に、留意する必要があります。

確認事項	YES	NO	N/A	備考
1. 全般事項				
立会先の在庫の概要と残高の概算値を確かめたか。				
実地棚卸の実施時点の数量と、実地棚卸の基準日の最終在庫数量との間に差異がある場合、その変動が適切に記録されているか。				
在庫受払の締切時点を確認したか。				
実地棚卸の方法を確認したか（棚卸原票方式、リスト方式など）。				
実地棚卸要領や棚卸手続を確認したか。				
対象在庫全件に対するカウントが一斉に行われたか。				
過去の立会時における指摘事項は改善されたか。				
2. 記録方法				
a) 棚卸原票（棚卸伝票）方式を採用する場合				
棚卸原票（棚卸伝票）は所定の様式のものを使用し、連番管理がなされているか。				
棚卸原票（棚卸伝票）の受払管理は適切に行われているか				

確認事項	YES	NO	N/A	備考
棚卸原票（棚卸伝票）は見やすいところに貼付されており、現物との関係が一目で分かるか。				
複数人によるカウントが行われ、その記録が残っているか。				
数量はボールペン等で見やすく記録されているか。				
単位間違い、桁間違いを防止する工夫（記入欄に点線を入れる、頭止めを行う）などの工夫がなされているか。				
書き損じ分や未使用分の棚卸原票は適切に回収されているか。				
b) リスト方式を採用する場合				
対象在庫のロケーション管理が適切に行われているか。				
棚番順にカウントする、カウント済の印をつけるなど、実地棚卸のモレや重複を防止する仕組みが構築されているか。				
複数人によるカウントが行われ、その記録が残っているか				
3. 整理・整頓の状況				
同一の在庫はできる限り1か所に集められているか。				
棚卸対象外の物品は、その旨が明確にわかるようになっているか。				
預り品がある場合、その旨が明確にわかるようになっているか。				
消耗品や梱包材に対する取扱いは適切か。				
無償支給品に対する取扱いは適切か。				
不良品・陳腐化品・死蔵品等はその処分の方法を検討し、可能な限り事前に処分されているか。				
不良品・陳腐化品・死蔵品等はまとめて置かれているか。				

確認事項	YES	NO	N/A	備考
納入日が古い在庫から払出が行われるように管理されているか。				
主な長期滞留品の滞留理由を確かめたか。				
その他、保管・配置・整理の状況は良好か。				
4. カットオフの状況				
売上済み未出荷品の取扱いは妥当か。また、売上の証拠資料（検収書など）や契約関係、売上先からの預り証発行依頼の有無などを確かめたか。				
未検収品（購入資産）の取扱いは妥当か。また、契約関係や仕入先からの預り証発行依頼の有無などを確かめたか。				
対象在庫の中に預け品がある時には、在庫証明・預り証等が取得または手配されているか。				
棚卸中または立会中に在庫の移動や生産が行われた場合、カウントのモレや重複がないことを確かめたか。				